

2024 年度「学修成果等アンケート」分析結果

IR 推進本部長 2025.7.4.

1. アンケート概要

(1) 調査目的

学生の学修時間、成長実感・満足度及び学修に対する意欲等を継続的に把握し、学修成果及び教育成果を可視化することにより、学生が自身の学修内容や成果を振り返り次の学びに繋げるため、また、次年度以降の教育改善を図るために実施した。

(2) 調査対象

全学部在学生

(3) 実施期間

2024 年 12 月 9 日(月) ～ 2025 年 3 月 7 日(金)

(4) 調査方法

実施期間中の任意の時間に manaba にログインし、「学生 manaba Information」の「アンケート」から回答させた。

(5) アンケート項目

1. 学部(学科)を選択してください。
2. 学年を選択してください。

問1 大学に入ってから受けた授業で、次の項目はどのくらいありましたか？

(選択肢:①よくあった、②ある程度あった、③あまりなかった、④なかった)

3. 理解がしやすいように教え方が工夫されている。
4. 事前・事後学修など授業時間外に行うべき学修が指示されている。
5. 課題等の提出物に適切なコメントが付されて返却される。
6. グループワークやディスカッションの機会がある。
7. 質疑応答など、教員等との意見交換の機会がある。
8. ティーチングアシスタントによる補助的な指導がある。

問2 大学在学中に経験した以下の項目はどの程度有用だったと感じますか？

(選択肢:①有用だった、②ある程度有用だった、③あまり有用ではなかった、④有用ではなかった、⑤経験していない)

9. インターンシップ
10. ボランティア活動
11. 海外留学・海外研修(短期も含む)
12. 主に英語で行われる授業の履修(語学科目を除く)

問3 大学教育を通じて、次のような知識や能力などが身に付いたと思いますか？

(選択肢:①身についた、②ある程度身についた、③あまり身につけていない、④身につけていない)

- 13. 専門分野に関する知識・理解
- 14. 将来の仕事につながるような知識・スキル・態度・価値観
- 15. 文献・資料を収集・分析する力
- 16. 論理的に文章を書く力
- 17. 人に分かりやすく話す力
- 18. 外国語を使う力
- 19. 数理・統計・データサイエンスに関する知識・技能
- 20. 問題を見つけて解決方法を考える力
- 21. 多様な人々と協働する力
- 22. 幅広い知識、ものの見方
- 23. 異なる文化に関する知識・理解

問4 これまでの大学での学び全体を振り返って、次の項目についてどのように思いますか？

(選択肢:①そう思う、②ある程度そう思う、③あまりそうは思わない、④そうは思わない)

- 24. 大学から卒業時まで学生が身に付けるべき知識や能力が明示されている。
- 25. 授業評価アンケート等の学生の意見を通じて大学教育が良くなっている。
- 26. 教職員が学生と向き合って教育に取り組んでいる。
- 27. 大学での学びによって成長を実感している。
- 28. 大学での学びに満足している。

問5 今年度の授業期間中の【平均的な1日】の学修時間は、それぞれどのくらいですか？

(選択肢:①30 分未満、②30 分以上 1 時間未満、③1 時間以上 2 時間未満、④2 時間以上 3 時間未満、⑤3 時間以上)

29. 授業への出席(実験・実習、オンライン授業を含む)

30. 【4 年生のみ回答】卒業論文・卒業研究・卒業制作

31. 事前・事後学修、課題など授業に関する学修(卒業論文等は除く)

32. 授業と直接関係しない自主的な学習(学問に関する読書やディスカッション、実技の練習、資格試験の勉強等)

問6 本調査や、大学での学びについて意見がありましたら教えてください。(自由記述)

前年度からの課題

- ・ 回収率の向上

期間延長 ゼミの時間やキャリアプランニングの時間を利用 → 改善

- ・ 学年別、学科別のデータ共有 → 集計値は別紙参照

- ・ 学生へのフィードバック → 継続課題

授業の途中で改善を行うことに加え、これまでのアンケートを踏まえて改善している点につき授業の中で伝える

- ・ 外国語学部における卒業までの道筋の明示 → 継続検討

2. 回収率

(1) 学年別

学年	回収率	回答者数	学生数	(前年度)
1 年生	77%	587	769	41%
2 年生	73%	566	778	33%
3 年生	40%	329	823	30%
4 年生	31%	287	915	14%
合計	54%	1,769	3,285	29%

これまで課題であった回収率は、授業時間を活用して回答を促したことで改善した。 29% → 54%
キャリアの授業を使った1、2年と比べると3、4年はまだ低い。

(2) 学科学年別

学科	日本語	英米語	中国語	経済	不動産	HT	口腔保健
4 年生	34%	23%	79%	19%	23%	46%	42%
3 年生	52%	33%	65%	28%	35%	52%	67%
2 年生	57%	75%	73%	73%	77%	85%	62%
1 年生	79%	80%	88%	82%	66%	74%	58%

特に英米語、経済、不動産の3、4年生の回答率は低い

重要な指標である学生の満足度に影響する要因を把握するため、アンケートの各質問項目を説明変数とする回帰分析を行った。

(アンケート項目には内容が似通っているものも含まれるため、主成分分析の結果を参考に、代表的な質問項目を選定した)

3. 「28 大学での学びに満足している」の回帰分析 分析上影響がみられる項目 TOP2

	3 理解がしやすいように教え方が工夫されている	5 課題等の提出物に適切なコメントが付されて返却される	14 将来の仕事につながるような知識・スキル・態度・価値観	24 大学から卒業時まで学生が身につけるべき知識や能力が明示されている	25 授業評価アンケート等の学生の意見を通じて大学教育が良くなっている	26 教職員が学生と向き合って教育に取り組んでいる	32 授業と直接関係しない自主的な学習
1 年生	○					◎	
2 年生					○	◎	
3 年生		○				◎	
4 年生				○		◎	
日本語	○					◎	
英米語				◎		○	
中国語	○		◎				
経済			○			◎	
不動産	○					◎	
HT	○					◎	
口腔保健			○			◎	

26と3が満足度に影響しており、**面倒見のよい大学**であるとわかる。 英米語は24をより改善することが満足度向上に有効だと思われる。

一方、後述する数理・データサイエンスや問題解決力などは今一つであり、面倒見の良さと裏腹の課題が見えてくる。

4. 主な調査結果

問1 大学に入ってから受けた授業で、次の項目はどのくらいありましたか？

・よくあった(4点)、ある程度あった(3点)、あまりなかった(2点)、なかった(1点)

「3. 理解がしやすいように教え方が工夫されている」について

有用だった(5点+4点)と回答した比率

学科	日本語	英米語	中国語	経済	不動産	HT	口腔保健
4年生	87%	84%	100%	93%	83%	87%	65%
3年生	95%	74%	96%	85%	85%	94%	88%
2年生	93%	93%	77%	84%	80%	93%	91%
1年生	90%	83%	100%	89%	92%	97%	70%

総じて80%以上の高い評価であるが、
英米3年生、中国語2年生、口腔保健1、4年生
はやや低いスコアとなっている。

(参考)「26. 教職員が学生と向き合って教育に取り組んでいる」について

学科	日本語	英米語	中国語	経済	不動産	HT	口腔保健
4年生	83%	72%	95%	83%	69%	87%	38%
3年生	86%	68%	93%	70%	69%	92%	81%
2年生	79%	86%	81%	77%	68%	86%	79%
1年生	88%	76%	100%	83%	85%	89%	61%

問2 大学在学中に経験した以下の項目はどの程度有用だったと感じますか？

・有用(5点)、ある程度有用(4点)、あまり有用ではない(3点)、有用ではない(2点)、経験がなかった(1点)

「9. インターンシップ」について

4年生で有用だった(5点+4点)と回答した比率

学科	日本語	英米語	中国語	経済	不動産	HT	全体
4年生	83%	66%	92%	90%	78%	94%	86%
参加率	80%	68%	63%	78%	75%	61%	83%

英米語と不動産の評価は低めだが、全体としてはインターンシップに参加して良かったと感じている。

海外研修については、学科ごとでばらつきがある

「11. 海外研修」について

4年生で有用だった(5点+4点)と回答した比率

学科	日本語	英米語	中国語	経済	不動産	HT	口腔保健	全体
4年生	82%	78%	75%	59%	72%	90%	100%	75%
参加率	37%	27%	49%	37%	19%	35%	18%	35%

問3 大学教育を通じて、次のような知識や能力などが身についたと思いますか？

・身についた(4点)、ある程度あった(3点)、あまりなかった(2点)、なかった(1点)

「13. 専門分野に関する知識・理解」について

3、4年生で身についた(4点+3点)の比率

学科	日本語	英米語	中国語	経済	不動産	HT	口腔保健
4年生	83%	88%	93%	88%	92%	93%	91%
3年生	93%	84%	96%	80%	87%	94%	95%

専門分野は総じて高い評価で身についたと感じている。
「卒業生へのアンケート」においても大学で身につけた能力のうち専門知識は一番に挙げられている。

「14. 将来の仕事につながるような知識・スキル・態度・価値観」について

3、4年生で身についた(4点+3点)の比率

学科	日本語	英米語	中国語	経済	不動産	HT	口腔保健
4年生	83%	58%	88%	81%	92%	91%	91%
3年生	93%	75%	86%	64%	82%	96%	93%

英米語と経済(特に3年)が13の専門に関して身についたと回答した比率に比べ低いスコアになっている。

「13」と「14」の相関

	1年生	2年生	3年生	4年生	日本語	英米語	中国語	経済	不動産	HT	口腔保健
相関係数	0.65	0.61	0.74	0.64	0.64	0.46	0.59	0.62	0.68	0.70	0.84

「13」と「14」には相関がみられる。
特に3年生、HT、口腔保健は高めの相関
一方英米語はさほどの相関がみられない ~ 24とも関連

「17. 人に分かりやすく話す力」について

3、4年生で身についた(4点+3点)の比率

学科	日本語	英米語	中国語	経済	不動産	HT	口腔保健
4年生	83%	72%	88%	76%	67%	85%	56%
3年生	95%	81%	79%	77%	61%	92%	83%

4年生 口腔保健、不動産、英米語はやや低め

3年生 不動産がやや低め

「21. 多様な人々と協働する力」について

3、4年生で身についた(4点+3点)の比率

学科	日本語	英米語	中国語	経済	不動産	HT	口腔保健
4年生	93%	81%	93%	81%	72%	87%	73%
3年生	93%	68%	79%	81%	72%	96%	91%

4年生 口腔保健、不動産はやや低め

3年生 英米語、不動産はやや低め

口腔保健は多くの設問で4年でスコアが動く傾向にある 国試影響？

「22. 幅広い知識、ものの見方」について

3、4年生で身についた(4点+3点)の比率

学科	日本語	英米語	中国語	経済	不動産	HT	口腔保健
4年生	93%	84%	100%	77%	83%	91%	76%
3年生	91%	84%	96%	85%	74%	84%	86%

「19. 数理・統計・データサイエンスに関する知識・技能」について

高い評価(4点+3点)の比率

学科	日本語	英米語	中国語	経済	不動産	HT	口腔保健
4年生	57%	31%	55%	63%	64%	37%	12%
3年生	48%	52%	43%	54%	57%	43%	41%
2年生	42%	38%	39%	56%	53%	34%	36%
1年生	61%	37%	62%	60%	60%	43%	58%

全体的に低調

学科ごとで全学年で50%を越えているのは、
経済と不動産だけ

1年生のスコアが他の学年より比較的高いのは
学修の基礎Ⅲを学んでいる影響か

「20. 問題を見つけて解決方法を考える力」について

高い評価(4点+3点)の比率

学科	日本語	英米語	中国語	経済	不動産	HT	口腔保健
4年生	80%	59%	88%	81%	75%	69%	59%
3年生	88%	68%	86%	67%	74%	78%	74%
2年生	72%	74%	58%	72%	66%	75%	76%
1年生	73%	64%	76%	75%	73%	66%	70%

問題解決力も全体的に低調

日本語3年と中国語4年のスコアが最高値
今期から学修の基礎Ⅰで課題解決方法にも力点を
置いているので、今後の成果を見たい

問4 これまでの大学での学び全体を振り返って、次の項目についてどのように思いますか？

・そう思う(4点)、ある程度思う(3点)、あまり思わない(2点)、思わない(1点)

「24. 大学から卒業時まで学生が身につけるべき知識や能力が明示されている」について
高い評価(4点+3点)の比率

学科	日本語	英米語	中国語	経済	不動産	HT	口腔保健
4年生	83%	75%	91%	78%	75%	78%	56%
3年生	83%	77%	72%	71%	76%	82%	91%
2年生	84%	80%	77%	75%	75%	83%	94%
1年生	80%	77%	95%	82%	89%	80%	84%

特に1年次の評価を学部別に比較すると、
英米語のスコアがやや低めである
英米語については、14のスコアの低さや13と14の
相関のなさもあり、何が学べるかを伝える必要があ
ろう（昨年と同様）
～ 外国語学部の今後については引き続き検討中
口腔保健の4年生のスコアの低下

「25. 授業評価アンケート等の学生の意見を通じて大学教育が良くなっている」について

高い評価(4点+3点)の比率

学科	日本語	英米語	中国語	経済	不動産	HT	口腔保健
4年生	67%	53%	70%	64%	58%	52%	24%
3年生	71%	42%	61%	50%	50%	74%	57%
2年生	56%	60%	35%	61%	45%	64%	58%
1年生	73%	60%	62%	66%	69%	59%	49%

全体に低い
特に口腔保健4年のスコアが低い
相関分析の結果 26.27.28との相関がみられ
る（次頁）
本アンケートでの学生のコメント(別紙参照)

(参考)「25. 授業評価アンケート等の学生の意見を通じて大学教育は良くなっている」の相関分析

弱い相関がみられる項目

	3	5	7	16	17	19	20	24	26	27	28
1 年生									0.54	0.50	0.55
2 年生									0.54	0.52	0.53
3 年生									0.56	0.60	0.52
4 年生	0.50	0.56	0.51			0.53		0.58	0.66	0.58	0.56
日本語		0.50				0.50		0.53	0.60	0.54	0.54
英米語	0.50								0.61		0.57
中国語				0.53	0.58	0.55	0.55				
経済								0.57	0.56	0.60	0.58
不動産									0.58	0.50	0.52
HT	0.52							0.57	0.53	0.52	0.55
口腔保健			0.57						0.67		0.55

「26. 教職員が学生と向き合って教育に取り組んでいる」「27. 大学での学びによって成長を実感している」「28. 大学での学びに満足している」の3項目は全体に相関が認められる。

→ 本アンケートへの学生のコメント(別紙)に対し、きちんと回答したい

「26. 教職員が学生と向き合って教育に取り組んでいる」について(再掲)

高い評価(4点+3点)の比率

学科	日本語	英米語	中国語	経済	不動産	HT	口腔保健
4年生	83%	72%	95%	83%	69%	87%	38%
3年生	86%	68%	93%	70%	69%	92%	81%
2年生	79%	86%	81%	77%	68%	86%	79%
1年生	88%	76%	100%	83%	85%	89%	61%

特に専門の授業が比較的多い3年生のスコアを
学科ごとに比較すると、英米語、不動産、経済の評
価が芳しくない

中国語は2年次を除いて最高の評価

口腔保健は1、4年時のスコアが低い

26. は3. とともに満足度に影響が大きい

「27. 大学での学びによって成長を実感している」について

高い評価(4点+3点)の比率

学科	日本語	英米語	中国語	経済	不動産	HT	口腔保健
4年生	77%	63%	95%	83%	72%	82%	62%
3年生	95%	52%	93%	71%	82%	94%	88%
2年生	72%	83%	73%	69%	70%	83%	85%
1年生	75%	67%	95%	77%	78%	85%	72%

4年生のスコアについては、

中国語は高い評価、

英米語、口腔保健は低い評価(70%以下)

「28. 大学での学びに満足している」について

高い評価(4点+3点)の比率

学科	日本語	英米語	中国語	経済	不動産	HT	口腔保健
4年生	80%	78%	85%	82%	83%	82%	59%
3年生	91%	61%	89%	66%	70%	90%	88%
2年生	79%	74%	85%	72%	66%	83%	76%
1年生	88%	65%	81%	78%	76%	75%	61%
卒業時	85%	85%	94%	92%	88%	96%	73%

概ね成長実感に近いが、3、4年生の評価は
英米語 満足>成長実感
中国語は 満足<成長実感、

(参考) 回帰分析(前述)

← (参考)卒業時アンケート

「卒業した学部・学科に入学して良かったと思いますか」

問5 今年度の授業期間中の【平均的な1日】の学修時間は、それぞれどのくらいですか？

-30分未満(1点)、30分以上1時間未満(2点)、1時間以上2時間未満(3点)、2時間以上3時間未満(4点)、3時間以上(5点)

「32. 授業と直接関係しない自主的な学習」について

1時間以上(3点4点5点)の比率

学科	日本語	英米語	中国語	経済	不動産	HT	口腔保健
4年生	17%	39%	17%	40%	39%	43%	70%
3年生	33%	39%	23%	22%	42%	22%	23%
2年生	21%	22%	19%	18%	28%	29%	25%
1年生	34%	27%	24%	17%	32%	30%	18%

特に口腔保健の4年生が高い
国家試験対策の関係だと考えられる
他は総じて低く、自主学習にあまり時間を割いていない

5. むすび

- ・ 満足度にも影響の大きい「面倒見の良さ」は本学の強みとして継続したい。
一方で、学修の基礎を中心に、数理・DX 系の力や問題解決力の向上に一層つながるカリキュラムを目指したい。
- ・ 課題と考えられる英米語学科における卒業までの道筋の明示も含め、外国語学部の今後について検討を進める。
- ・ 学生からのコメントに対しては極力回答していきたい。
- ・ 特に3、4年生の回収率をさらに向上させる必要があり、ゼミなどで時間を取ることをあらためてお願いしたい。

以 上